



致遠館SSH通信



「志」高く学び続ける生徒たちを育成する青鵠新 STEAM 教育！

佐賀県立致遠館高等学校
佐賀県立致遠館中学校



令和 8 年 8 月 1 7 日発行 第 7 号

OIST 研修 報告

OIST (沖縄科学技術大学院大学) は、理工学分野の5年一貫制博士課程を置く学際的な大学院大学で、科学の新たなフロンティアを開拓するため、分野の垣根を越えた研究を行っています。新世代の科学を率いるリーダーを育成することも目的としており、本校では、SSHの課題研究(青鵠課題研究 AP (3年理数科で実施))の成果発表と科学技術人材としての意識向上を目的として、ここを訪問してオールイングリッシュでの研修を行っています。参加者は昨年度末に実施した校内発表会で上位に入賞した生徒たちで、課題研究で取り組んだ内容について、現地の大学の先生方や学生の前でプレゼンテーション(もちろん英語)を行い、自分たちの研究について質疑・応答や指導・助言(これも英語)を受けました。また、科学技術研究の先(起業等)についての講義(当然英語)を受け、自分の視野を広げることもできました。この研修で学んだことは文化祭で報告を行う予定です。今年度の参加チームの研究タイトルは以下の通りです。

Field of Study (分野)	Research Title(研究タイトル)
Mathematics・Informatics (数学・情報)	Digitalization of Science Learning Materials for High School Students and Its Effectiveness (高校生に向けた理系教材のデジタル化とその有効性)
Physics (物理)	Structures Expected to Have Sound-Absorbing Properties～Conversion of Sound Energy to Thermal Energy Using Viscous Friction～ (吸音性が期待できる構造とは～粘性摩擦を利用した音エネルギーから熱エネルギーの変換～)
Chemistry (化学)	Growing Plants in Capsules (カプセル栽培)
Agriculture (農業)	Potential of SCFAs in the intestinal environment (新たな抗がん物質としての SCFA)
Medical care (医療)	Potential of music therapy to maintain cognitive function (認知機能の維持を目的とした音楽療法の可能性)

